

アイチ・ナゴヤの 未来をThink UP

Policy Collection 2025

次世代に向けて夢ある暮らし

産業力と魅力向上で豊かな暮らし

福祉・医療・教育が充実した暮らし

安心・安全が続く暮らし

**政策
実現力**

愛知自民

愛知県自民党政策集

アイチ・ナゴヤの 未来をThink UP

Policy Collection 2025

愛知自民は愛知県の未来、次世代のために、今何をなすべきか。生活者の立場で何が本当に必要かを考え、誰もが生きがいを感じ、その能力を存分に発揮できる社会、持続的に成長できる社会、安心して暮らせる社会を築くことを目指します。

私たちの暮らしは今まさに歴史的な分岐点を迎えています。

賃上げなどは高い水準となりましたが、生活を守る為には「物価上昇を上回る賃上げ」が必要です。また、世界に目を向ければ、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナ情勢、米国関税措置など国際情勢は予断を許しません。その他、人口減少など重要課題が山積しております。

これらの課題に対し愛知自民は皆様と共に知恵を寄せ合い前に進めていく所存です。政策を進め、豊かな未来を築くためにも皆様と想いを同じにし、信頼していただける関係がなければなりません。信頼回復に向けて一層の努力を続け、愛知自民一丸となりこの局面を乗り越える覚悟です。

我々には多くの同志・仲間と地域に根ざした組織があります。これまで皆様からいただいた声を効率的で効果的に施策に反映させるため、国・県・市町村との橋渡し役として皆様の暮らしを支えてきたとの自負がございます。

引き続き皆様に寄り添い次世代のための暮らしを前に進めるよう切磋琢磨していく決意です。

皆様からの期待をしっかりと受け止め、愛知自民は未来を起点に今を考えます。





食料安全保障

食料安定供給の確保に向けた構造転換を図り、食料安全保障の強化を進めます。

強い経済

力強い経済と豊かさを実感できるための必要な対策を総合的に実施します。

活力ある地方創生

デジタル田園都市国家構想と地方創生 SDGsを推進し、農林水産業・地域経済の活性化を図り、活力ある地方をつくります。

安心して暮らせる社会

充実した社会保障、手厚い少子化対策・子育て支援の着実な実行を進めます。

防災・減災、国土強靱化

徹底した災害対策で、災害から命と生活を守る強い国づくりを進めます。

外交

国際社会の平和と安全を図るとともに、毅然とした日本外交の展開を進めます。

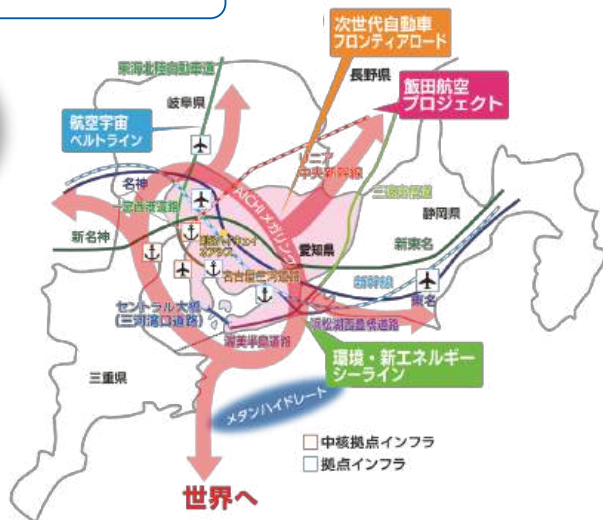
脱炭素・エネルギー

カーボンニュートラルの実現とエネルギー安全保障の確保の両立を目指します。

AICHI メガリング

世界に発信する活気ある愛知をつくるため、その効果を最大限に引き出す AICHI メガリング構想を進めます。

AICHI メガリング 構想



アイチ・ナゴヤの
未来をThink UP

次世代に向けて 夢ある暮らし

空の移動

リニア中央新幹線 東京ー名古屋間 40分

名古屋駅に乗換先が一目で見渡せ、上下移動も円滑にでき、案内機能も備えた広場空間【ターミナルスクエア】を5か所設置します。

中部国際空港

喫緊の課題である現滑走路の大規模補修を速やかに実施しながら、2段階の整備で現在の滑走路処理能力を約1.5倍へ推進します。

新エネルギー 水素

水素の需要と供給を一体的かつ大規模に

愛知県は、2030年度までに、FC（燃料電池）商用車供給台数をトラック等 7,000 台とする目標を掲げ、自動車メーカーや水素ステーション事業者等と一丸となって推進していきます。FC 商用車対応水素ステーションも 2030年までに 74 か所を目指していきます。

名古屋市では

大規模水素ステーションの整備調査

名古屋市における商用 FC 自動車の普及を見据え、これらの車両に対応した大規模水素ステーションの用地として、民間事業者貸付可能な市有地の適地調査を実施します。

第20回アジア・第5回アジアパラ競技大会 2026 愛知・名古屋

全国・世界に打ち出せるスポーツ大会を招致・育成し、地域活性化につなげる取組を推進します。
4年に一度開催されるアジア最大のスポーツの祭典で、45の国と地域が参加。

大会概要

第20回アジア大会	第5回アジアパラ大会
2026年9月19日(土)～10月4日(日)	大会会期 2026年10月18日(日)～24日(土)
最大 15,000 人 (選手・チーム役員)	参加者数 3,600～4,000人 (選手・チーム役員)
41 競技	実施競技 18 競技
県内を中心に県外の既存施設を含め 53 会場を仮決定	競技会場 アジア競技大会の会場を中心に 19 会場を仮決定

名古屋市では

路面公共交通 SRT の導入

名古屋都心部の賑わいや回遊性の向上、ウォーカブルな空間形成を目指し、新たな路面公共交通システム SRT について、2025 年度後半から（名古屋駅ー栄間）の運行を開始予定。

STATION Ai

2024 年 10 月に名古屋・鶴舞に開業した「STATION Ai」。愛知県が有する海外の先進的なスタートアップ支援機関や大学とのネットワークと、ソフトバンク(株)が有する世界的なネットワークを融合させ、(利用者最大 1000 社) 世界有数のスタートアップ・グローバルコミュニティを形成していきます。



車両イメージ

アイチ・ナゴヤの
未来をThink UP

産業力と魅力向上で 豊かな暮らし

産業支援

中小・小規模企業の 企業力強化

中小・小規模企業を取り巻く経営環境の変化を踏まえ、企業力強化等を図る貸付金、経営支援事業補助金、地場産業の販路開拓・後継者確保などの支援策を拡充します。



愛知の食を守る

農畜産業 生産力UP

スマート農業機械の導入支援、畜産業の自給飼料の生産・利用の拡大、鳥インフルエンザ・豚熱の防疫感染拡大の対策を強化します。

水産業 生産力UP

魚礁漁場の総合的整備、アサリ等貝類資源の増殖場造成、のり養殖業での魚や鳥による食害防止対策、栽培漁業の生産施設設置による水産資源増大などを図ります。

観光

ツーリズムEXPO ジャパン 2025

2025 年 9 月に本県で初開催の世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」を地域一丸となって支援し、愛知の魅力を発信します。

大河ドラマ「豊臣兄弟！」を 生かした観光誘客

名古屋駅へのインフォメーションセンターと同市の中村公園内に大河ドラマ館の設置、周遊ドライブマップの作成、滋賀県・奈良県と連携した周遊キャンペーンなどを実施し、誘客促進を図ります。

アイチ・ナゴヤの
未来をThink UP

福祉・医療・教育が
充実した暮らし



子どもたちの未来へ

名古屋市
では

乳児等通園支援

0歳6か月から満3歳未
満の子どもを対象に、就
労要件を問わず、**月10
時間**までの利用ができる
通園支援を実施します。

妊娠期からの切れ目ない 子育て支援

県独自に低所得世帯を対象とし、1歳6か月児
健診および3歳児健診時に、それぞれ5万円を
給付します。

第二子以降の**3歳未満児の保育料を無料化**また
は軽減する市町村に対し、その経費を助成します。
(第三子以降を第二子以降に拡大)

フレキシブルハイスクールや 夜間中学の設置

全日制・昼間定時制・通信制の3過程を一つの
学校内でフレキシブルに行き来して学べる新し
いタイプの高校を設置します。

(2025年度4校開設)

日本語指導が必要な外国にルーツを持つ方・不
登校などで中学へ通えなかった方への日本語の
基礎指導・義務教育の学び直しを行う夜間中学
を設置します。

(2025年度豊橋、2026年度豊田、一宮、小牧で開設)

中高一貫校の 整備

県立高校の欠員増と少子化
情勢を踏まえ、中高一貫校
など、中学生が自ら学びた
いと思える県立高校の整備
を推進します。

**(2025年度3校、2026年
度6校開設)**

介護人材の確保

介護サービスを提供する人材の確
保対策を推進します。ホームヘル
パーの確保や研修、介護ロボット
やICT機器の導入などに要する
経費を助成します。

県立高校体育館等への エアコン設置

熱中症対策として、全ての県立高
校の体育館・武道場を**(2024年
度から2027年度)**、また、全ての
特別支援学校の体育館も**(2023
年度から2025年度)**までにエア
コンを設置します。

介護の充実

大規模地震災害への備えを

「場所（避難所）の支援」から
「人（避難者等）の支援」への転換、被災者が尊厳ある生活を営める「スフィア基準」への対応などの市町村の取組を一層加速します。

基幹的広域防災拠点

大規模災害時に、全国からの応援人員や物資等を受け入れ、被災現場や地域の防災拠点に迅速かつ的確に供給する「愛知県基幹的広域防災拠点」を豊山町に整備します。

- 県営名古屋空港に隣接。広さ約19.2ha。平常時は消防学校と防災公園として運用され、完成予定は2029年前半を予定。

未来の命も守る

名古屋市
では

南海トラフ地震対策

最新の知見や社会状況の変化などを踏まえ、**新たな被害想定調査を実施**するとともに、その結果を基に、地震対策に係る今後の対応を検討します。

ペット同行避難対策

災害時のペット用資機材配布や同行避難訓練の検証結果を基に、市町村向けに「ペット同行避難対策推進マニュアル」を作成し、災害時に人とペットが共生できる社会を目指します。

公共施設の強靱化

名古屋市
では

強靱な上下水道施設を目指して

大規模地震発生時においても、**上下水道の機能を維持し、一層の早期復旧**を実現できるよう、上下水道基幹施設及び管路の地震対策を着実に推進します。また、激甚化・頻発化する豪雨に備え、下水道施設の整備も推進します。



政策 実現力

愛知自民

自民党愛知県連公式 LINE お友達追加募集中

登録はこちらから



AICHI自民党
LINE公式アカウント

あなたの
スマホに
情報を
ダイレクト



各種情報の配信・透明化に努めていきます

自民党愛知県連
公式 HP



AICHI自民党
jpmn-aichi.org

合わせて
こちらも
チェック

- ▷ 自民党愛知県連青年局
- ▷ 自民党愛知県連女性局
- ▷ 自民党愛知県議団 BLOG
- ▷ 愛知政治大学院

自由民主党愛知県支部連合会

〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目 4-10 TEL.052-951-7473

このパンフレットは政党の自由な政治活動であって、選挙期間中でも自由に配布できます。